

2021近畿2.11

大門1A

解答一覧

- ・問1:イ
- ・問2:ウ
- ・問3:イ

解説

問1

正解:イ (Well, it really depends on what you want to do there.)

- ・正解の理由:

空所の後のBの発言「I haven't actually decided that yet(実はそれについてはまだ決めていないんです)」に注目する必要がある。選択肢イの「何をしたいか(what you want to do)」が、この「that」の内容と合致する。

- ・他選択肢が誤りの理由:

- ・ア: 景色を見たことがあるかを問うているが、Bの「まだ決めていない」という返答と繋がらない。
- ・ウ: 航空券のセール情報は、時期の相談に対する直接的な答えになっていない。
- ・エ: いきなり夏を勧めているが、Bが「まだ決めていない」と答える対象(that)が文中に存在しなくなる。

問2

正解:ウ (I do prefer cooler weather though.)

- ・正解の理由:

直前でAが「夏は非常に人気で、ビーチを楽しめる」と提案している。それに対し、空所の後のAの発言が「In that case, what about autumn?(それなら、秋はどうですか?)」と別の季節を提案していることから、Bは夏に対して否定的な理由を述べたと考えられる。ウの「もっと涼しい気候の方が好きだ」という内容が、秋への提案に繋がる自然な流れを作る。

- ・他選択肢が誤りの理由:

- ・ア: 「完璧かもしれない」と肯定してしまうと、Aが秋を提案する理由がなくなる。
- ・イ: 「秋よりも前ならいつでもいい」と言うと、直後に秋を勧められる展開と矛盾する。

- ・エ: 夏に同意してしまっているため、その後の秋への提案と繋がらない。

問3

正解: イ (But I expect that they'd be outside my budget.)

- ・正解の理由:

空所の後のAの返答「Not if you're prepared to stay in reasonably priced accommodation.(手頃な価格の宿泊施設に泊まるつもりなら、そんなことはないですよ)」が決定的なヒントである。AはBが抱いた「懸念」を否定している。イの「予算外(=高い)になりそうだ」という懸念に対し、「安宿に泊まれば(予算外にはならない)」と返すのが最も論理的である。

- ・他選択肢が誤りの理由:

- ・ア: 体力(fit enough)の懸念に対し、宿泊施設の話で返答するのは噛み合わない。
- ・ウ: トレッキングに興味があるという意向に対し、「宿泊施設次第ではそんなことない」と返すのは文脈不明である。
- ・エ: 情報を求める依頼に対し、「宿泊施設次第ではそんなことない」という否定の返答は成立しない。

全文和訳

ニュージーランド旅行の相談

A: アスコット・トラベルへようこそ。どのようなご用件だろうか。

B: ニュージーランドへの旅行を考えているのだが、いつがベストシーズンなのか知りたいと思って。

A: そうだな、現地で何をしたいかによって本当に変わってくる。

B: それについては実はまだ決めていないのだが、景色が美しいと聞いている。それを見るのに良い時期はいつだろうか。

A: 実は、一年中いつでも美しい。

B: ああ、そうだろうな。では、旅行者に最も人気のある季節はいつだろうか。

A: 夏が非常に人気だ。その時期なら美しいビーチを楽しむことができる。

B: だが、私はもっと涼しい気候の方が好みなのだ。

A: それなら、秋はどうだろうか。木々が実に色鮮やかだ。

B: それは完璧に聞こえる。田舎へ行って散策するのは素晴らしいだろう。

A: おっしゃることはよくわかる。もしよろしければ、ガイド付きのウォーキングツアーやサイクリングツアーをお勧めできる。

B: ぜひそのようなことをしてみたい。だが、それらは私の予算を超えてしまうのではないかと思う。

A: 手頃な価格の宿泊施設に泊まるつもりなら、そんなことはない。後ほど詳細をメールしよう。

大門1B

解答

- ・問4:エ
- ・問5:エ
- ・問6:ア

解説

問4:エ

直前のBの発言で、大学のホームページには部活動の紹介はあるが「費用(fees)」や「活動頻度(how frequently they meet)」については何も書かれていないことが述べられている。

- ・正解のエ:「そういうことがわからなくて、どうやって選べばいいっていうの?」という不満や困惑を表しており、直後のAの「新歓(club fair)の日まで詳細を知る方法がなさそうだ」という発言に自然につながる。
- ・ア:「大学1年生の時にもっと情報を得ておくべきだった」という意味だが、二人は「来月から大学生になる」状況なので文脈に合わない。
- ・イ:「どんなクラブがあるか知る方法はないかな?」と聞いているが、Bが既に「ホームページに各クラブの紹介がある」と言っているため重複する。
- ・ウ:「ありがたいことに問い合わせ用のメールアドレスが残されていた」という意味だが、これを選ぶと直後の「新歓の日まで詳細を知る方法がない」という発言と矛盾する。

問5:エ

Aがテニスかバスケットボールのどちらかにしたいと述べたのに対し、Bが質問し、Aが「(そう考えたことは)ある。でも、今年は他にもやることがあるから、無理をしたくないんだ」と答えている。

- ・正解のエ:「それだけエネルギーがあるんだから、両方やろうとは思わなかつたの?」という提案だ。Aの「I have(考えたことはある)」という返答と、「でも無理はしたくない(=だから片方に絞る)」という理由説明に完璧に合致する。
- ・ア:「時間がかかりすぎないか心配したことはないの?」という意味だが、これだとAの返答が「心配したことはある。でも……無理はしたくない」となり、内容が重複して不自然だ。
- ・イ:「どちらにするか決めたのは素晴らしい」という意味だが、Aは直前に「最終決定はまだしていない(haven't made any final decisions yet)」と述べている。
- ・ウ:「新しいことに挑戦すると決めたのは嬉しい」という意味だが、Aは「高校でやっていたことを続けたい(continue with what I did at high school)」と言っている。

問6:ア

Bが「演劇グループに入りたいが、役者より制作側(production side)がいい」と言い、Aが「チャンスはたくさんあるはずだ」と励ましている場面だ。

- ・正解のア: 「理想を言えば、演出(directing)に一番興味があるんだ」という具体的な希望を述べている。これに対しAが「それは君にぴったりだ(That'd really suit you)」と賛成し、続けて「でも脚本は書かないようだね。英語は苦手だったでしょ」と冗談交じりにアドバイスする流れが非常に自然だ。
- ・イ: 「幸い、高校の劇で経験がある」という意味だが、直後のB自身の発言「やったことがないから(never having done it before)」と真っ向から矛盾する。
- ・ウ: 「正直に言うと、役者のセリフを書くのを手伝いたい」という意味だが、これを選ぶとAの「脚本は書かないように(make sure you're not drafting scripts)」という忠告が、Bの希望を全否定することになり、「君にぴったりだ」という発言と矛盾する。
- ・エ: 「観客の前で演技をするチャンスがほしい」という意味だが、Bは直前に「役者ではなく制作側がいい(rather than acting)」と言っている。

和訳

A: 来月から大学生になるのは少し緊張するが、楽しみもある。特にサークルには興味があるんだ。

B: 私もだ。大学のホームページに各サークルの紹介が載っている。だが、費用や活動頻度については何も書かれていない。

A: その通りだ。[問4: そういうことがわからずに、どうやって選べばいいというのか。] 新入生勧誘会(クラブフェア)の日まで、そうした詳細を知る方法はなさそうだ。

B: 私は絶対に行くつもりだ。姉の話では、そこには各サークルの人が来ているらしい。

A: それはいいな！私は高校でやっていたことを続けたいと思っている。まだ最終決定はしていないが、テニスかバスケットボールのどちらかがいいと考えている。

B: おもしろいな。[問5: 君のそのエネルギーがあれば、両方やろうとは思わなかつたのか？]

A: 思ったことはある。だが、今年やる他の全てのことを考えると、無理(オーバーワーク)はしたくないんだ。

B: それはいい考えだ。私は入れる演劇グループがあるか見てみるつもりだ。だが、演技をするよりは、絶対に制作側(裏方)に回りたいと思っている。

A: それはとても楽しそうだ。きっとチャンスはたくさんあるはずだ。

B: [問6: 理想を言えば、演出に一番興味がある。] だが、一度もやったことがないから、誰かがチャンスをくれるかどうかはわからない。

A: それは君にぴったりだ。ただ、脚本だけは書かないように気をつけることだ。学校では、英語は決して君の得意科目ではなかったからな！